

平成26年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)	研究科名	理学研究科 (アクチュアリー サイエンス部 門)	カテゴリー	自然科学総合科目 群	横断 区分	文理横断型		
授業科目名 (英訳)	年金制度設計論 (Pension Plan Design)		講義担当者 所属・氏名	理学研究科・上原 尚、 片寄郁夫、豊留 健		開講 場所	理学部2号館第 1講義室		
配当 学年	修士 1.2年生	単位 数	2単位	開講 期	後期	曜 時 限	水3限 (13:00-14:30)	授業 形態	講義
〔授業の概要・目的〕									
<p>高齢化社会を迎え、社会の大きな柱である年金制度は日本のみならず世界各国でも大きな課題を抱えている。公的年金分野においては、少子高齢化の進行、経済成長の鈍化などを背景に、年金給付水準の確保と年金財政の持続可能性の保持を目指した年金制度の再構築が喫緊の課題となっている。</p> <p>一方、公的年金を補完する企業年金分野においては、従業員雇用形態の多様化、資産運用環境の変化、年金受給者の増加、更には国際会計基準の導入などを背景に、企業年金の適用率の低下が喫緊の課題といえよう。</p> <p>本講座では、こうした年金制度の現状と課題についての理解を深めた上で、年金制度設計の根幹となる『年金数理』についての基本的な考え方を学ぶと共にそれに関連する会計制度や資産運用などについても言及していく予定である。</p>									
〔研究科横断型教育の概要・目的〕									
上に述べたように年金制度として公的年金・企業年金を含め考え方の基本となる『年金数理』のみならず、会計制度、資産運用等も絡む非常に幅広い内容を含んでいる。その意味で本講座は研究科横断型講座に該当する。									
〔授業計画と内容〕									
この講義はリレー講義です。企業で活躍している3人の実務家が下記テーマをもとに講義します。									
<p>第1章 年金制度論 : 本当は何が問題なのか！</p> <p>第2章 年金数理の基礎: 年金数理のイメージをつかむ</p> <p>第3章 計算基礎率の算定: 計算の前提の算定方法を知る</p> <p>第4章 年金現価: 年金現価を知る</p> <p>第5章 財政計画と財政方式: 計画的な積立方法を知る</p> <p>第6章 各種財政方式の構造: 積立方法を分解する</p> <p>第7章 財政計算: 掛金を決定する</p> <p>第8章 財政検証: 計画通りか検証する</p> <p>第9章 退職給付会計: 会計の概念を理解する</p> <p>第10章 年金資産運用と年金数理: その他関連する事柄を知る</p>									
〔履修要件〕									
特にありません。									
〔成績評価の方法・基準〕									
レポートによる。									
〔教科書〕									
『年金数理概論』(朝倉書店)、他詳細については適宜掲示します。									
〔参考書等〕									
授業中に紹介する。									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									
詳細については適宜掲示いたしますので、注意して下さい。									